

## GSTC サステナブルツーリズム研修プログラムを実施しました

「世界から選ばれ続ける東京」であるために、公益財団法人東京観光財団（以下「TCVB」という）では、持続可能な観光・ビジネスイベント開催都市を目指した取り組みを進めています。

この度、令和5年度より発足した [TCVB Sustainable Tourism Partnership](#) にご参加の賛助会員(30社・団体)の皆様を対象とした、GSTC サステナブルツーリズム研修を実施しました。

### 【実施概要】

研修名：GSTC サステナブルツーリズム研修プログラム

期間：令和6年10月28日（月）～30日（水）全3日間

対象：TCVB Sustainable Tourism Partnership にご参加の企業・団体より約20名

共催：GSTC、公益財団法人東京観光財団

講師：GSTC公認トレーナー 荒井 一洋 氏（NPO法人 大雪山自然学校 代表理事）

### 【GSTCサステナブルツーリズム研修とは】

[GSTCサステナブルツーリズム研修プログラム \(STTP\)](#) | [GSTC \(gstcouncil.org\)](#)

本研修は、旅行・観光のサステナビリティにおける国際基準を策定する国際非営利組織 Global Sustainable Tourism Council（略して GSTC）によって提供されます。GSTC 基準は、大きく分けて「マネジメント」「社会経済」「文化」「環境」の4種類について、ホテル・旅行会社を対象とした産業用、自治体や DMO 等を対象とした地域用に、取り組むべき項目を示しています。

研修は、産業向け基準(GSTC-I)、観光地域向け基準(GSTC-D)の2種類に関する座学と、それをもとにしたフィールドワークで構成されます。3日間の研修を終えると、GSTC から公式の修了証書が交付されます。

1・2日目の座学に続き、3日目のフィールドワークは、渋谷区観光協会及び渋谷区のご協力のもと、渋谷・原宿エリアを訪れました。渋谷区では、路上飲酒や喫煙、ごみのポイ捨て等の社会課題を抱えています。また、住民や来訪者の安全・安心の確保のために、ハロウィーン期間の渋谷駅周辺への来街自粛のお願いにも取り組んでいます。

フィールドワークでは、これらに関連した区の出組や、スロツーリズム推進、THE TOKYO TOILET 清掃体験、Vegan Friendly マークの開発と区内飲食店等への普及促進等、観光協会が地域の商業施設や様々な団体と連携して取り組む多様なプロジェクトが紹介されました。フィールドワーク中は、災害発生時の帰宅困難者対策の一時避難場所を示す「[シブヤ・アロープロジェクト](#)」や、一般社団法人[シブヤフロント](#)による取組など、ユニークなプロジェクトも紹介されました。

3日間の研修を終え、参加者の皆様からは、以下のようなご感想が寄せられました。

- 堅い研修になるのではなく、わかりやすく頭に落ちてくるような工夫がありとてもやりやすかった。周りの方の意識も高く非常に勉強になった。
- GSTC 指標と関連付けて多数のケーススタディを提示いただき、理解が深まった。
- フィールドワークなどは事例に実感が持てるのでとても重要だと思った。
- 他社はサステナブルの活動に多くの人と手間をかけていることがわかった。

今後も TCVB では、持続可能な観光に関わる観光関連事業者・団体の皆様同士の連携や、学びの場を創出して参ります。



1



2



3



4



5

- 1 : GSTC 基準を学ぶ座学の様子
- 2 : ハロウィーン対策が始まった駅前広場での集合写真
- 3 : 表参道、ハラカド前に設置されているスマートゴミ箱 (SmaGo)
- 4 : 道玄坂下近くのドラッグストアの壁面に描かれたアロープロジェクト (代々木公園方面を示している)
- 5 : 渋谷区観光協会の取組を聞く参加者